

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【公開番号】特開2012-244423(P2012-244423A)

【公開日】平成24年12月10日(2012.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-052

【出願番号】特願2011-112655(P2011-112655)

【国際特許分類】

H 04 N 1/46 (2006.01)

H 04 N 1/60 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/46 Z

H 04 N 1/40 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月13日(2014.5.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明に係る色再現域圧縮方法は、均等色空間上の各格子点に、該格子点上の色値が該均等色空間において移動すべき方向を表すベクトルを割り当てるステップと、前記均等色空間上の入力色値に対する移動の方向を前記格子点に割り当てられたベクトルに基づいて求め、該入力色値を、出力装置の色再現域にマッピングするステップと、を含むことを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

均等色空間上の各格子点に、該格子点上の色値が該均等色空間において移動すべき方向を表すベクトルを割り当てるステップと、

前記均等色空間上の入力色値に対する移動の方向を前記格子点に割り当てられたベクトルに基づいて求め、該入力色値を、出力装置の色再現域にマッピングするステップと、を含むことを特徴とする色再現域圧縮方法。

【請求項2】

前記マッピングするステップは、

前記均等色空間上の入力色値に対して、

a) 1の入力色値に対する移動の方向を、前記ベクトルを用いた補間演算によって求め、

b) 前記求めた移動の方向に、入力色値を前記ベクトルの分だけ移動させ、

c) 前記移動した後の入力色値が、前記出力装置の色再現域の内にある場合は該色再現域にある色値を出力し、前記出力装置の色再現域の外にある場合は、前記移動した後の色値を次の入力色値とし、

d) すべての入力色値について、前記a)からc)までのステップを繰り返す、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の色再現域圧縮方法。

【請求項 3】

前記ベクトルを割り当てるステップは、

前記均等色空間上の各格子点に、該均等色空間の原点に向かうベクトルを割り当てるステップと、

ソース色再現域のガマット表面上の特定の入力色値と前記出力装置の色再現域のガマット表面上の特定の出力色値との対応関係を定義するステップと、

前記定義された対応関係に基づいて、前記原点に向かうベクトルの向きを修正するステップと、

を含むことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の色再現域圧縮方法。

【請求項 4】

前記修正するステップは

a ) 前記定義された対応関係における前記特定の入力色値と前記特定の出力色値とを結ぶラインを定義し、

b ) 前記定義されたラインを構成する単位ベクトルを求め、

c ) 前記求められた単位ベクトルの開始位置から所定の範囲内にある格子点を取得し、取得された格子点と前記開始位置との距離を計算して、該計算された距離に基づく重みをかけたベクトルを前記取得された格子点のベクトルに加算し、該加算によって得られたベクトルを単位ベクトル化し、

d ) すべての前記定義された対応関係について、前記 a ) から c ) までのステップを繰り返す、

ことによって、前記原点に向かうベクトルの向きを修正することを特徴とする請求項 3 に記載の色再現域圧縮方法。

【請求項 5】

前記対応関係は、前記入力色値と前記出力色値とを結ぶ中継点の色値を用いて定義され、

前記ラインは、前記特定の入力色値から前記中継点の色値を経由して前記特定の出力色値に至るラインとして定義される、

ことを特徴とする請求項 4 に記載の色再現域圧縮方法。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の色再現域圧縮方法を用いて色再現域を圧縮する圧縮手段と、

前記圧縮手段によって圧縮された均等色空間上の色値を、前記出力装置に依存する色空間の色値に変換する手段と、

を備えることを特徴とするプロファイル生成装置。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の方法をコンピュータに実行させるプログラム。